

総務文教厚生常任委員会調査報告書

1 調査事件

ふるさと納税についての検証（平成 28 年 6 月定例会で報告）

2 調査目的

ふるさと納税についての意見の達成状況を調査し、その取り組みについて検証することとした。

3 調査の経過

令和 2 年 3 月 11 日 （会期中）企画情報課より聞き取り
令和 2 年 3 月 23 日 税務町民課、総務課より聞き取り
令和 2 年 3 月 31 日
令和 2 年 4 月 10 日
令和 2 年 4 月 21 日
令和 2 年 4 月 28 日
令和 2 年 5 月 22 日

4 検証の結果

(1) 寄附金の拡大について

[前回の意見]

ア ECサイトの活用

「ふるさとチョイス」以外のECサイト（ヤフー、楽天、サイネックス）の活用をすべきである。

イ 魅力ある返礼品

返礼品を選定する企画会議を定期的に行い、庄内町特産物・地元商品をより効果的にPR出来るようアイデアを募り、魅力ある返礼品の開拓に努めるべきである。PRには、役場以外の協力も要請すべきである。

ウ リピーターの確保

お礼状は、より感謝の気持ちを伝える内容とし、領収書とは別紙で作成すべきである。また、お礼状とともにダイレクトメールを送付し、ダイレクトメールは、新商品が出た時も送付してリピーターの確保に努めるべきである。

エ 企業版ふるさと納税への対応

本町でも国の認可を受けるため、地域再生計画を作成すべきである。

[検証の結果]

ア ECサイトの活用

(ア) 結果

当初 1 つだけの EC サイトを 9 つまで増やしている。

(イ) 理由

平成 27 年度から令和元年度（令和 2 年 2 月末日現在）までにおける EC サ

サイトの累計取扱件数等は表 1、及びその間のふるさと応援寄付件数等と EC サイトの関係は表 2 のとおりである。

表 1 《EC サイトごとの累計のふるさと応援寄付件数等》

(平成 27 年度から令和 2 年 2 月末日まで)

EC サイト名	開始年度	寄附件数(件)	寄附金額(千円)		EC サイト手数料(B)(千円)	実収額(千円)	
			金額(A)	1 件当		金額(C)(A-B=C)	C/A × 100 (%)
ふるさとチョイス	H27～	69,508	1,268,591	18.3	34,048	1,234,543	97.3
楽天ふるさと納税	H28～	46,110	801,134	17.4	83,952	717,182	89.5
ANA のふるさと納税		8,027	168,358	21.0	25,032	143,326	85.1
ふるなび		9,906	172,540	17.4	11,961	160,579	93.1
ふるさとプレミアム		1,833	32,256	17.6	3,772	28,484	88.3
ふるさと本舗		1,393	36,908	26.5	2,845	34,063	92.3
Wowma! ふるさと納税	H30～	594	15,711	26.4	1,806	13,905	88.5
サンプル百貨店	H30	108	1,270	11.8	137	1,133	89.2
さとふる	H31～	1,036	38,776	37.4	4,720	34,056	87.3
さといこ		0	0	0	0	0	0
総 数		138,515	2,535,544	193.8	168,273	2,367,271	93.4

表 2 《ふるさと応援寄附件数等と EC サイトの関係》

年度	寄附件数(件)		%	寄附金額(千円)		%
		(うち EC サイト)			(うち EC サイト)	
H27	32,777	(30,694)	93.6	455,569	(421,327)	90.5
H28	39,805	(38,812)	97.5	605,991	(585,539)	96.6
H29	66,602	(65,621)	98.5	1,082,616	(1,062,319)	98.1
H30	31,986	(31,566)	98.6	574,442	(562,757)	97.9
R1※	17,912	(17,687)	98.7	527,567	(519,832)	98.5
累計	189,082	(184,380)	97.5	3,246,185	(3,151,774)	97.1

※ R1 は、令和 2 年 2 月末日現在の数値

(ウ) 今後の対応

今後も有効な EC サイトの活用努めるべきである。

イ 魅力ある返礼品

(ア) 結果

米以外の魅力ある返礼品を生み出していない。

(イ) 理由

返礼品は、米の人気に依存している。

なお、総務省から期間指定の対象団体とする通告があり、その対応に追われ新たな返礼品の開発に手が回らなかったことも一因と考えられる。

総務省から期間指定とする理由は公表されていないが、これまでは庄内豚と同量のセットで、山形牛や友好町の南三陸町産海産物を返礼品として扱ってきた。特に、南三陸町産海産物は平成 31 年 4 月までは「復興支援に関する場合の特例」として認められていたものの、その後に地場産品以外との分類がされたこと。また、返礼品の大半を占めるコメの値上がり、梱包資材の値上がりで、値上がり前に予約受付したコメの返礼品が、規定の 3 割を超えてしまったことが理由として挙げられる。

期間指定とする通告の内容は、6 月から 9 月までの 4 箇月間は対象団体と認めるが、その後は再申請が必要になるというものだった。上記の期間指定となった理由と思われる問題を改善したうえで、再申請した結果 10 月以降も指定団体に認定された。

(ウ) 今後の対応

米だけに頼らず、新たな魅力ある返礼品を生み出すべきである。

ウ リピーターの確保

(ア) 結果

実施している。

(イ) 理由

平成 28 年度から令和元年度までにおけるダイレクトメールの発信リピーターの状況は、表 3 のとおりである。

表 3 《ダイレクトメール発信、ツイッター活用、リピーターの状況》

(平成 28 年度～令和元年度)

年度	寄附者数(人) A	ダイレクトメール(回)	ツイッター活用 CP ※1 (人)			リピーター数(人)					リピーター率 (%) ※2
			感想聞かせて	川柳	計	2 回	3 回	4 回	5 回 ~	計 B	
H29	47,130	6	—			6,746	2,177	934	1,125	10,982	23.3
H30	23,881	15	23	—	23	4,197	1,505	673	864	7,239	30.3
R1	13,907	9	—	6	6	2,073	1,037	564	1,255	4,929	35.4
計	84,918	30	23	6	29	13,016	4,719	2,171	3,244	23,150	27.3

※1 「CP」とは、キャンペーンの略称

※2 「リピーター率」は、 $B/A \times 100$ で、年度内リピーター

(ウ) 今後の対応

引き続きリピーターの確保に努めるべきである。

エ 企業版ふるさと納税への対応

(ア) 結果

実施していない。

(イ) 理由

一度企画した事業は中断できないことから、企業からの寄附が得られなければ、多額の一般財源の負担が伴うため。

(ウ) 今後の対応

先進地事例を参考するなど、引き続き検討すべきである。

(2) 寄附金の使途について

[前回の意見]

ア 希望使途アンケートの見直し

総合計画の6つの基本方針から希望使途アンケートを取っているが、総合計画の5つの重点構想に絞ったほうが分かりやすい。また、5つの重点構想に特徴ある庄内町の事業を掲載し、庄内町の魅力発信に繋がるアンケートにすべきである。

イ 寄附金の使い方

ふるさと応援寄附金は、希望使途アンケートが反映される使い方、特徴ある事業に使うため、基金（仮称：庄内町ふるさと応援基金）として積み立てるべきである。

ウ 寄附者への報告

年度ごとに、希望使途アンケートから、どの事業に使われたかをまとめた報告書とし発送すべきである。

[検証の結果]

ア 希望使途アンケートの見直し

(ア) 結果

総合計画の5つの重点構想を希望使途とし、寄附者が使途を選択できるようになっている。

(イ) 理由

平成30年度における実績等は、表4のとおりである。

表4 《平成30年度実績》

希望使途	寄附件数	寄附額	寄附額割合
◎産業活力日本一のまちづくり構想	7,608件	156,884千円	27.3%
農林水産業の担い手育成／商業振興／観光・交流資源の充実／定住・移住促進など			
◎子育て教育日本一のまちづくり構想	9,813件	175,090千円	30.5%
子育て支援／いのちの教育推進／少年体験活動の充実／国際化に対応した人材育成など			

◎健康長寿日本一のまちづくり構想			
高齢者支援／地域医療の充実／生涯学習、活力あるコミュニティ形成／スポーツ活動推進など	1,301件	22,884千円	4.0%
◎安全・安心日本一のまちづくり構想			
消防・救急体制／交通安全施設整備／高齢者世帯除雪支援／バリアフリーなど	1,374件	23,627千円	4.1%
◎環境共生日本一のまちづくり構想			
再生可能エネルギー利活用／風車村整備／公害・環境汚染防止／ごみ処理など	2,464件	44,302千円	7.7%
特に希望なし ※町政全般の事業に活用	7,229件	126,369千円	22.0%

(ウ) 今後の対応
今後も継続すべきである。

イ 寄附金の使い方

(ア) 結果
現在5つの特徴ある事業に使うための基金を設立し、積立てている。

(イ) 理由
基金の積立状況は、表5のとおりである。

表5 《庄内町ふるさと応援寄附金基金事業：令和2年度3月2日現在》

基金事業名	目標額	寄附件数	実寄附額
『清河八郎』大河ドラマ誘致気運醸成プロジェクト 【平成29年8月21日 目標額達成】	2,500千円	949件	13,415千円
あなたの応援で育てよう！未来の五輪選手 【平成29年9月19日 目標額達成】	3,000千円	1,077件	15,905千円
東北から世界を駆け抜けろ！目指せF1レーサー！ 【平成30年1月10日 目標額達成】	4,800千円	1,163件	25,795千円
東北の隠れたアートを世界へ！水彩画記念館プロジェクト 【平成30年9月18日 目標額達成】	5,000千円	2,197件	25,285千円
“龍（どら）まちっく”プロジェクト ～龍でまちおこし～ 【令和元年10月15日 目標額達成】	5,000千円	1,110件	25,557千円

(ウ) 今後の対応
特徴ある事業では、新たな特徴ある事業の基金を創設すべきである。

ウ 寄附者への報告

(ア) 結果

報告書は、発送していない。

(イ) 理由

報告書は、ホームページで公表しているため。

(ウ) 今後の対応

お礼状に、ホームページに誘導する文章を記載すべきである。